

関係各位

長崎市立東長崎中学校  
女子バスケットボール部  
顧問 木戸由希・石井桃子  
コーチ 山崎純男

令和元年度 第1回 クラブオンリーカップ結果報告 (最終日)

- 1 場 所 西有家中学校
- 2 期 間 令和元年10月26日(土)・27日(日)
- 3 試合結果 別記
- 4 詳 細

選手プロフィール				リーグ1			AC			リーグ2			chakees			CONS1			有明Jr			CONS2			THS									備考
#	名	前年	身長	出身	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	Note	
4	米 嶋	②	157	高城台 小学校		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0										
5	西 川	②	166	古 賀 小学校	S	28	9	2	S	22	5	1	S	17	6	0	S	17	1	0														
6	木 下	②	160	古 賀 小学校		0	0	0		2	0	0		9	2	2		17	4	2														
7	江 口	②	156	古 賀 小学校	S	6	0	1	S	3	2	0	S	12	7	0	S	7	0	0														
8	辻 山	①	152	高城台 小学校		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0														
9	田 中	②	155	高城台 小学校		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0														
10	中 田	①	153	古 賀 小学校		0	0	0		5	2	1		12	6	0		13	2	0														
11	布志木	①	156	高城台 小学校	S	28	10	2	S	28	4	3	S	18	11	1	S	28	13	1														
12	鎌 塚	①	150	高城台 小学校		0	0	0		0	0	0		3	1	0		0	0	0														
13	上 原	①	161	矢 上 小学校		23	4	4		25	6	2		19	5	1	S	20	2	1														
14	小 川	①	161	高城台 小学校	S	28	16	1	S	27	6	2	S	22	9	1	S	28	15	1														
15	林 田	①	157	矢 上 小学校		0	0	0		0	0	0		7	0	0		0	0	0														
16	山 口	①	150	古 賀 小学校		0	2	0		3	0	0		4	0	1		0	0	1														
17	庄 司	①	153	古 賀 小学校		0	0	0		0	0	0		1	0	0		0	0	0														
18	加 藤	①	163	高城台 小学校	S	27	5	1	S	25	2	1	S	16	7	0		10	2	0														
				1P	140	13	16		140	6	17		140	8	7		140	12	12		0				0									
	左	:	東長崎	2P		11	13			6	17			18	6			6	7															
	右	:	相手チーム	3P		10	6			4	14			14	5			9	6															
				4P		10	12			11	13			14	5			12	3															
				計	●	44	47		●	27	61		○	54	23		○	39	28															

5 所 感

1日目

第6試合の途中まで、このイベントに3年生が参加していることを知りませんでした。山口維新などは主体が3年生で3月末に行われるJBA主催のジュニアオールスターの代替え試合に出て上位入賞を狙っているのだそうです。チャキーズ(佐賀市)にも3年生がいましたが、AC(荒尾玉名)は1・2年生のみのチームでした。初戦のACは戦っているながら「強いなあ」と感じていました。強いなあだけでなく「試合をよく分かっているなあ」とも思っていました。それに加えて四つで最後まで戦えたひがながも強くなったのだと思っています。

次のチャキーズ戦はボロボロでしたが、それは「飛び込もうか、やめようか」「パスしようか、捨てようか」などの躊躇が終始選手たちを支配しており、それをコントロールできないまま焦りや悲しみや落胆が増幅していったからです。とても残念ですがこういう経験をしながら逞しくなっていくのでしょう。

ひがながが強くなっているということを確認したのは、第6試合のAC対チャキーズの試合の観戦中です。最後の最後に息切れしてACが逆転されてしまいましたが、このACに初戦でひがながが互角に戦えたからです。私はそう思っているのですが選手たちがどの程度「私たちは強くなったぞ」と思っているのか、どの程度「もっと強くなりたい」と思っているのかを確実に把握できてはいません。多いのに越したことはありませんが、せめて3人ぐらいは「お前の思いは俺は充分わかっている」という選手が出てくれば、今日のように惜しい試合を落とすことはなくなるのですが…。

2日目

3位グループのトーナメントでは2勝しましたが、他の試合を観戦したり審判しながら判定すると、山口維新がダントツに強く(3年生主体だから当然)、五和・生月・有明Jrは少し力が劣るものの、ネクサス・三角・AC・チャキーズ(3年混成)・THS・長崎中央・ひがながの7チームはどこが山口維新の次にランクされるかわからないほど力が接近していたと思います。ということは、ひがながはやっぱり強くなっているのです。試合の展開が読めないとか私の指示や説明の意味がしっかり理解できないという幼稚さがまだまだ残っているのですが、それでも強くなってるのです。「幼稚さよ、早く飛んでけ〜」という心境です。文責:山崎

追伸

たぶん来年このイベントには参加しません。なんか、私には空気が合わないのです。

関係各位

長崎市立東長崎中学校  
女子バスケットボール部  
顧問 木戸由希・石井桃子  
コーチ 山崎純男

令和元年度 第30回鶴鳴杯争奪中学生バスケットボール大会 結果報告 (2日目)

- 1 場 所 長崎女子高校
- 2 期 間 令和元年05月25日(土)・26日(日)
- 3 試合結果 別記
- 4 詳 細

選手プロフィール					リーグ1 深江布津			リーグ2 小ヶ倉			cons1 清水			cons2 川棚			備考							
#	初	日	年	身長	出身	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	Note		
4	小谷川	③	160	高城台	小学校	S	16	2	0	S	16	0	2	4	小谷川	S	16	5	2	S	13	7	4	
5	寺島	③	164	高城台	小学校	S	16	13	2	S	16	5	0	5	西川	S	16	4	3	S	16	0	2	
6	下釜	③	148	高城台	小学校	S	8	0	0	S	8	2	1	6	下釜	S	16	2	0	S	11	2	1	
7	木下	②	160	古賀	小学校	S	16	8	0	S	16	6	1	7	木下	S	16	3	1	S	16	2	2	
8	江口	②	156	古賀	小学校	S	16	2	0	S	16	0	0	8	藤下	S	16	0	0	S	16	10	2	
9	布志木	②	156	日見	小学校		8	2	0		8	2	0	9	米嶋		0	0	0		0	0	0	
10	中田	①	153	古賀	小学校		14	2	0		16	0	0	10	中田		16	5	1		16	2	2	
11	布志木	①	156	高城台	小学校		16	0	1		16	8	0	11	布志木		16	5	2		16	7	2	
12	鋤塚	①	150	高城台	小学校		3	0	0		4	0	0	12	鋤塚		0	0	0		0	0	0	
13	林田	①	157	矢上	小学校		4	0	0		4	0	0	13	林田		0	0	0		3	0	0	
14	小川	①	161	高城台	小学校		0	0	0		0	0	0	14	小川		16	7	0		16	9	3	足首捻挫
15	加藤	①	163	高城台	小学校		14	0	0		16	3	0	15	加藤		16	2	0		16	6	0	
16	山口	①	150	古賀	小学校		13	2	0		8	0	0	16	山口		0	0	0		5	8	1	
17	庄司	①	153	古賀	小学校		0	0	0		0	0	0	17	庄司		0	0	0		0	0	0	
18	上原	①	161	矢上	小学校		16	4	1		16	7	0	18	上原		16	0	3		16	8	3	
					1P	160	15	20		160	8	16				160	6	9		160	12	11	0	
左 : 東長崎					2P		3	27			10	27					10	11			15	4		
右 : 相手チーム					3P		12	18			9	16					8	17			16	18		
					4P		5	17			4	14					9	12			19	13		
○=勝ち ●=負け					計	●	35	82		●	31	73				●	33	49		○	62	46		

5 所 感

1日目

まず、5反則退場とケガについて述べます。  
バスケットの試合でもっともダメなのは、5反則退場することとケガ(病気)をすることです。どんなにミスプレイをしてチームに迷惑をかけても、コートに立ち続けていればそれを挽回することができますが、退場したりケガをしたりするとそれができなくなるからです。ですからスポーツ選手は日頃から身体の手入れを怠らず、ケガに繋がるような動作をしないよう心がけなければなりません。

それはコーチにも言えることです。単発のケガ(これを外傷といいます)は仕方がない場合もありますが、動作の繰り返しが多いため起こるケガ(これを障害といいます)のほとんどはコーチのせいである場合が多いのです。スポーツの指導者はコーチという肩書きを持つ以上、スポーツ医学をしっかりと勉強して選手のケガを最小限に抑える指導ができなければなりません。

次にプレイのことについて述べます。

保護者の方々や応援に駆けつけてくれるの方々、シュートが入った落ちたに一喜一憂しないで、選手1人ひとりの目に注意して試合を観てみて下さい。そうすると、その選手が経験の積み重ねだけでプレイをしているか、目の前の現象から学習して次に活かそうとしているかが見えてきます。学習する選手は、今はミスが多くてもやがてチームに貢献できる選手になっていきますし、何より観る人に感動を与える選手になっていきます。

2日目

氏名の欄の青文字は、妹弟の体育大会応援のために2日目不参加の選手を変更しましたよという意味です。  
木曜日に足首の捻挫をしたカリンは、金曜日の練習を完全休養し、昨日はまったく試合に出さず、今日様子を見ながら起用しました。痛そうであれば引込めたのですが、そうではなかったので持ち時間いっぱいプレイすることができました。中学1年生にして“ケガ病気も実力のうち”を味わうとは…、かわいそうではありますが、この経験はこれからのカリンの人生に大きな教訓として残ると思います。

人が集まって何かをやれば、いいにつけ悪いにつけ1人では果たせない結果が生まれます。今日の試合は1人のナイスが仲間のナイスを呼び、それがいっぱい広がっていきました。さて次はどうでしょう? 文責: 山崎

関係各位

長崎市立東長崎中学校  
女子バスケットボール部  
顧問 木戸由希・石井桃子  
コーチ 山崎純男

第34回 コヤスポカップ結果報告 (2日目)

- 1 場所 長与中学校・山里中学校
- 2 期間 令和元年08月24日(土)・25日(日)
- 3 試合結果 別記
- 4 詳細

選手プロフィール				リーグ1			国見			リーグ2			長与			CONS1			山里			CONS2			福田									備考		
#	名	前年	身長	出身	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	Note			
4	米嶋	②	157	高城台小学校		1	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0				
5	西川	②	166	古賀小学校	S	22	9	0	S	24	0	0	S	16	6	1	S	19	7	0																
6	木下	②	160	古賀小学校	S	8	3	0	S	10	4	0		3	0	0		14	2	0																
7	江口	②	156	古賀小学校	S	11	2	1	S	10	3	0		15	1	0		13	4	1																
8	藤下	②	155	矢上小学校		7	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0																
9	布志木	②	156	日見小学校		7	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0																
10	中田	①	153	古賀小学校	S	14	8	0	S	22	2	0	S	18	0	0	S	13	2	1																
11	布志木	①	156	高城台小学校		14	4	3		21	6	0	S	28	8	3	S	26	23	3																
12	鍬塚	①	150	高城台小学校		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0														有痛性外脛骨		
13	上原	①	161	矢上小学校		12	2	0		7	4	1		14	3	0		13	3	1																
14	小川	①	161	高城台小学校	S	22	6	0	S	28	6	1	S	24	9	4	S	26	13	1																
15	林田	①	157	矢上小学校		7	0	1		0	0	0		0	0	0		1	0	0																
16	山口	①	150	古賀小学校		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0														ピアノ発表(出)		
17	庄司	①	153	古賀小学校		2	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0																
18	加藤	①	163	高城台小学校		13	6	0		18	4	0	S	22	0	1	S	15	0	0																
				1P	140	18	5		140	7	4		140	2	8		140	7	10		0					0										
	左	東長崎		2P		12	7			10	15			14	6			21	14																	
	右	相手チーム		3P		4	5			6	12			6	10			18	4																	
				4P		6	7			6	19			5	8			7	13																	
				計	0	40	24		●	29	50		●	27	32		0	53	41																	

5 所感

1日目

メンバーをいろいろ組み替えて人物評価をしました。プレイだけでなく、表情や態度やちょっとしたしぐさもつぶさに観察しました。その結果、フルタイム安心して使える選手は1人だけ。あと2人そんな選手が出てくれば強くなります。その2人については目星をつけていますがもう少し時間がかかります。

フルタイム使えない選手のタイプは、①バスケットの理解度が低いから②ちょっとした事件に翻弄されて我を失うから③集中力が続かないから④闘い向きの性格ではないからなどいろいろありますが、改善するのが非常に難しい選手はごくわずかです。当分の間、フルタイム安心して使える選手を育成することと、フルタイム使えない選手の底上げすることに全力傾注しなければなりません。技術面や体力面で訓練することよりも、目とアタマを訓練すれば解決することの方が圧倒的に多く、割合にすれば1対9ぐらいです。

目とアタマといっても、バスケットの勉強を重ねれば解決するものではありません。人間として何年生きてきたかが問題で、選手たちはたかだか13年か14年の人生経験しかないのですが、そんな選手たちを、成人し、結婚し、子を産み育て、家庭を切り盛りする40歳のママにも引けを取らない人物に仕立て上げなければならないのです。そんな人物に仕立て上げるにはバスケットだけ教えてはダメです。常に「なぜ？」を探し「なるほど」を見つける人間に仕立て上げなければ…。だから時間がかかるのです。

2日目

今日2位グループ戦で1位になれば、明日は実力テスト初日なので棄権し、2位のチームに出場権を譲るつもりでした。けど、負けました。負けたことは悔しくありません。今期もっともよい試合内容でしたから。ただ、「ほんとはもっとやれるんだけどなあ」という思いはあります。それは、私は「この子たちは強くなった」と思っているのですが、選手たちの中には「私たち強くなったよね」と思っているのがパラッとしかいないからです。

自分を信じるとか強い信念を持って生きるなんて、ことばでは簡単に言えますが13~4歳の子どもたちにそう易々とできることはありません。でも、風軍団の選手たちは私が54歳の時に18歳でしたが、私は「この子たちは俺を越えている」と思いました。それを目指したいと思います。

文責：山崎

関係各位

長崎市立東長崎中学校  
女子バスケットボール部  
顧問 木戸由希・石井桃子  
コーチ 山崎 純 男

令和元年度 第17回 南島原杯結果報告 (最終日)

- 1 場 所 深江体育館・布津中体育館
- 2 期 間 令和元年11月02日(土)・03日(日)
- 3 試合結果 別記
- 4 詳 細

選手プロフィール				リーグ1 西有・深			リーグ2 鳴北			CONS1 神崎			CONS2 小野									備考								
#	名	前年	身長	出身	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	Note	
4	米 嶋	②	157	高城台 小学校		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0										
5	西 川	②	166	古 賀 小学校	S	32	11	3	S	22	2	3	S	21	6	3	S	14	2	1										
6	木 下	②	160	古 賀 小学校		17	4	2		24	4	0		0	0	0	S	7	0	1										
7	江 口	②	156	古 賀 小学校	S	5	0	0		3	0	0		0	0	0	S	7	0	0										
8	辻 山	①	152	高城台 小学校		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0										
9	田 中	②	155	高城台 小学校		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0										
10	中 田	①	153	古 賀 小学校	S	17	1	1		15	2	0		14	2	0	S	21	0	0										
11	布志木	①	156	高城台 小学校	S	31	12	1	S	32	14	3	S	28	6	3		21	7	2										
12	鎌 塚	①	150	高城台 小学校		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0										
13	上 原	①	161	矢 上 小学校		27	5	0	S	32	6	1	S	21	2	1		21	7	0										
14	小 川	①	161	高城台 小学校	S	31	25	2	S	32	23	2	S	28	24	2	S	28	7	1										
15	林 田	①	157	矢 上 小学校		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0										
16	山 口	①	150	古 賀 小学校		0	0	0		0	0	0		-	-	-		-	-	-										2日目法事
17	庄 司	①	153	古 賀 小学校		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0										
18	加 藤	①	163	高城台 小学校	-	-	-	-	-	-	-	-	S	28	3	0		21	8	1										初日風邪熱
					1P	160	8	9		160	18	10		140	6	16		140	4	11		0				0				
	左	:	東長崎		2P		17	19			10	17			8	11			3	11										
	右	:	相手チーム		3P		14	13			7	17			9	14			14	17										
					4P		19	12			16	9			20	14			10	10										
					計	0	58	53		●	51	53		●	43	55		●	31	49										

5 所 感

1日目

改良工事に取りかかったカリンとリナのプレイは「お！できたぞ」が1本ずつ出ました。新しい試みは練習ではできて試合ではなかなか出せないもの。まだ1週間も経っていないのに1本でも試合で出せたのは上等です。

改良工事に取り組んでいるのは個人技です。それを有効にするには試合展開が滑らかでなければなりません。それは選手1人ひとりの局面理解に負うところが大きい。それにまだまだばらつきがあるのです。技術はバスケットの練習を熱心にやればそこそこ身につきますが、局面理解力は人生経験が豊富でなければ身につけません。ということは、1年生ではなく2年生の中に局面を分析し判断する選手が出てきてほしいのですが、それが今のところ1年生のユイコの双肩にかかっているというのが苦しいところなのです。

ですから、ひがながバスケの試合は「この場面でそのプレイか？」とか「このタイミングでそのシュートか？」がまだしばしば出ます。このようなプレイは選手の精神を疲弊させます。結果がシュートミスやパスミスで終わったとしても、「ヨシヨシ、ここはそうやる所だ」というプレイは選手を疲れさせはしないのですが、そこらへんが安定しないのが惜しい試合を逃がすという結果に繋がっているのだと思います。しかし、人生経験を重ねさせるには時間がかかります。焦らず、根気強く待ちましょう。

2日目

帰途、バスの最後部座席でおちゃらけてふざけあっている3人組を運転席の近くの座席に移動させ黙らせました。ふざまな試合をしてしまった選手たちの心の傷を思いやって気配りしろと言いたかったのです。ふざまな試合になった理由は、コート上で起こっている出来事から学んで対処することができなかったからです。もちろん私は、何にどう対処したらよいかの指示と助言は何回もしました。しかしダメでした。

ではこれがひがながの本当の実力かということそうではありません。8/25の山里戦(負け)と福田戦(勝ち)、10/12の祇園戦(勝ち)と淵戦(負け)、10/26のAC玉名戦(負け)とTHS戦(勝ち)は見事でした。そんな試合ができるひがなががこんな試合をすることも。そのどちらもがひがながバスケの今の姿だということ。その主因は昨日も言いましたが人生経験の少なさです。今日私は選手を数回叱りましたが、このような時もっとも注意しなければならないのが、腹立ちまぎれに否定的なことを吐いてはならないということです。

文責：山崎

関係各位

長崎市立東長崎中学校  
女子バスケットボール部  
顧問 木戸由希・石井桃子  
コーチ 山崎純男

令和元年度 西海市協会主催中学生バスケットボール強化練習会結果報告 (2日目)

- 1 場 所 西海中学校
- 2 期 間 令和元年12月21日(土)・22日(日)
- 3 試合結果 別記
- 4 詳 細

選手プロフィール				リーグ1 附属			リーグ2 長与2			T1 鳴北			T2 北諫早									備考									
#	名	前年	身長	出身	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	Note		
4	米 嶋	②	157	高城台 小学校		0	0	0		0	0	0		0	0	0															
5	西 川	②	166	古 賀 小学校	S	17	0	1	S	22	6	1	S	28	5	1	S	19	2	1											
6	木 下	②	160	古 賀 小学校	-	--	--	-	-	--	--	-	-	--	--	-	-	--	--	-	-									指骨折り八	
7	江 口	②	156	古 賀 小学校		7	0	0		0	0	0	S	7	2	0	S	7	0	0											
8	辻 山	①	152	高城台 小学校		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0											
9	布志木	②	156	日 見 小学校	-	--	--	-	-	--	--	-	-	--	--	-	-	--	--	-	-									前十字再建術前	
10	中 田	①	153	古 賀 小学校		14	1	1	S	28	4	3		7	0	0		15	4	2											
11	布志木	①	156	高城台 小学校	S	27	18	3	-	--	--	-	-	--	--	-	-	--	--	-	-									ノド痛熱38℃	
12	鎌 塚	①	150	高城台 小学校		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0											
13	上 原	①	161	矢 上 小学校	S	30	12	0	S	32	5	4	S	28	4	1	S	28	8	0											
14	小 川	①	161	高城台 小学校	S	31	22	3	S	32	24	3	S	28	13	2	S	27	16	1											
15	林 田	①	157	矢 上 小学校		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0											
16	山 口	①	150	古 賀 小学校		7	0	1		16	2	5		14	0	3		16	2	4											
17	庄 司	①	153	古 賀 小学校		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0											
18	加 藤	①	163	高城台 小学校	S	27	4	1	S	30	7	2	S	28	9	1	S	28	8	2											
				1P	160	19	10		160	10	16		140	7	19		140	11	9		0				0						
	左	:	東長崎	2P		14	11			14	26			8	6			11	18												
	右	:	相手チーム	3P		12	11			12	18			14	4			7	13												
				4P		12	14			12	18			4	16			11	21												
				計	0	57	46	●	48	78	●	33	45	●	40	61															

5 所 感

1日目

1試合目の出だし、動きヨシ!。身体がよく動いただけでなく、練習メニュー④⑤を意図的に使おうとしていたところがヨシ!なのです。ただ、欲を言えば「やる!」と「捨てる!」の区別がもう少しできれば結果はもっと違うものになるのですが、ほんの半年前までは何をやるにもこどもレベルだったのだから無理もないと思ってやらなければなりません。

1試合目の後半、ガッツとパフォーマンスが落ちてきました。私はこれを、がんばったあとの反動と見ていました。それを考慮に入れて、選手を交替させ、タイムアウトを有効に使い、かけることばにも気を配りました。しかし、私が気がついていないことがひとつありました。結子の前半得点は12、カリンの前半得点は10。後半は結子6点カリン12点と、結子の得点があた落ちなのです。私はそれを試合後のスコアで知りましたが、試合中は前述のようにがんばったあとの反動ととらえていました。が、そうではなく後半結子の体調は最悪だったのです。

2試合目のアップ前、結子ママが私のそばに来て「結子がノドが痛いと言ってるので、熱を計ったら38℃でした」と告げたのです。それを聞いて私は「すぐ帰れ。そして病院に行け」と言いました。夜、電話をかけて様子を聞きましたが、熱は下がっていたのでインフルではないようです。でも熱はなくても明日は使わないつもりです。

結子の発熱は思わぬアクシデントでしたが、スポーツをやるからには熱心に練習するだけでなくこんなアクシデントにも強くならなければなりません。結子アクシデントは、他の選手にとっては自己アピールのチャンスなのです。日頃回って来ない出番が回って来るわけですから。選手の誰かから「この子は、自分に出番が回って来るかもしれないと思って張り切ってるな」という雰囲気私に伝わってくるようになればそれだけでかなり強いチームになっているのですが…。

2日目

結子はチームに同行させず自宅で療養させました。熱は終日36℃台だったのでインフルではありません。今日の1試合目は相手主導の試合をみんなでがんばり、3Q終了時に29対29と追いつきましたが4Qにその反動が来て勝利を逃しました。中でもカリンが大変でした。ボールを運んで、相手を崩して、点を取ってですからどこかでそのダメージが一気に彼女を襲います。今回の戦いでは、「がんばるだけではダメ。がんばったあとに来る反動に対応することが大切だ」ということを選手たちは学んだと思います。文責：山崎

関係各位

長崎市立東長崎中学校  
女子バスケットボール部  
顧問 木戸由希・石井桃子  
コーチ 山崎 純 男

令和元年度 中学生バスケットボールリーグ（8月節）結果報告（最終日結果）

- 1 場 所 広田中学校（3日）・福石中学校（10日）
- 2 期 間 令和元年08月03日（土）・10日（日）
- 3 試合結果 別記
- 4 詳 細

選手プロフィール				リーグ1 日宇			リーグ2 早岐			CONS1 中里			CONS2 佐々									備考								
#	名	前年	身長	出身	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	Note	
4	米 嶋	②	157	高城台 小学校		0	0	0		0	0	0		4	0	0		8	0	0										
5	西 川	②	166	古 賀 小学校	S	14	10	2	S	14	8	1	S	16	9	0	S	24	7	1										
6	木 下	②	160	古 賀 小学校	S	14	8	2	S	14	5	1	S	16	10	1	S	24	6	0										
7	江 口	②	156	古 賀 小学校	S	14	0	1	S	14	0	0	S	16	2	0	S	24	6	1										
8	藤 下	②	155	矢 上 小学校	S	14	7	0	S	14	0	0	S	12	2	1	S	14	0	0										
9	布志木	②	156	日 見 小学校	S	14	7	0	S	14	7	0	S	16	5	0	S	12	4	0										
10	中 田	①	153	古 賀 小学校		14	6	1		14	1	1		16	5	1		20	6	0										
11	布志木	①	156	高城台 小学校		14	11	1		14	9	1		--	--	--		--	--	--										地区選抜
12	鎌 塚	①	150	高城台 小学校		0	0	0		0	0	0		16	2	0		0	0	0										大腿部打撲
13	上 原	①	161	矢 上 小学校		14	2	0		14	4	0		--	--	--		--	--	--										地区選抜
14	小 川	①	161	高城台 小学校		14	10	1		14	8	1		--	--	--		--	--	--										地区選抜
15	林 田	①	157	矢 上 小学校		0	0	0		0	0	0		16	1	1		18	2	2										
16	山 口	①	150	古 賀 小学校		0	0	0		0	0	0		16	6	1		8	2	2										
17	庄 司	①	153	古 賀 小学校		0	0	0		0	0	0		16	1	1		8	0	0										
18	加 藤	①	163	高城台 小学校		14	2	1		14	2	0		--	--	--		--	--	--										地区選抜
					1P	140	18	12		140	6	14		160	11	18		160	4	24		0				0				
	左	:	東長崎		2P	14	11			10	11			7	13			2	13											
	右	:	相手チーム		3P	14	9			14	9			17	10			16	9											
					4P	17	14			14	15			8	18			11	14											
					計	0	63	46		●	44	49		●	43	59		●	33	60										

5 所 感

1日目（8月3日）

バスケットIQを高める練習の効果は上がっていると思います。バスケットらしいプレイが今日の試合でもちらほら出てくるようになりました。試合はやはり、2年生組と1年生組に分けたツープラトーンでやりました。どちらもちょうど5人ずつ。今日のレベルの相手だと1年生にあと3人、なんとか試合に出せるかなというバックアップ選手がいます。2試合目、オタオタしている2年生の2人を1年生のバックアップ選手に替えようかなと思う場面がありました。2試合目、オタオタしている2年生の2人を1年生のバックアップ選手に替えようかなと思う場面がありました。

それは、1年生組と2年生組の間には微妙な個性の違いと生活リズムの違いがあり、プレイのよしあしだけでは判定できないその群れ独特の雰囲気があるからです。だから、どちらの組が良くても悪くても替えるならばそっくりそのまま替えるのが良いと思いました。今日のように各クォーター毎に機械的に替えるのではなく、案内文書で述べたとおり割合が7：3だったり4：6になったりすることはあるかもしれませんが、ツープラトーンシステムは今シーズン不変だと確信しました。

今後の練習は、今やってることをさらに深めるだけ。新たに問題点が見つかり、その部分を修正していかなければならない課題は見つかりませんでした。

2日目（8月10日）

初日に“不変”と断定したツープラトーンシステムを早くも崩しました。地区選抜で抜けた4人の残り1年生チームを組むには個人の力量に格差がありすぎるのがひとつの理由ですが、1試合目でひまりが大腿部を打撲して2試合目を欠場させなければならぬ事態が発生したのが決定的な理由です。そうなるとうちも混成になります。どうせ混成になるなら今日の最強布陣で行こうと思ひ、後半は2年生のナミ・サヤカ・ハナと1年生のマオ・アンナで戦いました。

2試合目の後半の戦いぶりから、今後はツープラトーンをすてて混成で戦わせることも視野に入れて練習しなければならないのではないかと考えました。その場合、2年生を主体にしたチームに1年生から数人を補強するのがよいか、1年生を主体としたチームに2年生数人を補強した方がよいか、考えがまとまりません。アタマを悩ますのが混成にした場合のストレスの増幅です。それを心配しなくていいのなら混成おおいに結構なのですが……

文責：山崎

関係各位

長崎市立東長崎中学校  
女子バスケットボール部  
顧問 木戸由希・石井桃子  
コーチ 山崎純男

令和元年度 長崎市中総体バスケットボール競技大会 結果報告 (初戦敗退)

- 1 場 所 桜馬場中学校
- 2 期 間 令和元年06月08日(土)・09日(土)・10日(月)
- 3 試合結果 別記
- 4 詳 細

選手プロフィール				1回戦 桜馬場															備考										
#	名	前年	身長	出身	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	Note
4	本 田	③	153	古 賀 小学校		8	2	1																					
5	溝 脇	③	167	高城台 小学校		13	0	0																					
6	前 道	③	157	高城台 小学校		11	2	0																					
7	下 釜	③	148	高城台 小学校		5	0	0																					
8	小谷川	③	160	高城台 小学校	S	19	4	1																					
9	寺 島	③	164	高城台 小学校	S	24	10	3																					
10	西 川	②	166	古 賀 小学校	S	11	0	5																					
11	木 下	②	160	古 賀 小学校	S	16	6	0																					
12	江 口	②	156	古 賀 小学校	S	13	2	0																					
13	布志木	②	156	日 見 小学校		0	0	0																					
14	中 田	①	153	古 賀 小学校		8	0	0																					
15	布志木	①	156	高城台 小学校		8	2	1																					
16	小 川	①	161	高城台 小学校		8	4	0																					
17	加 藤	①	163	高城台 小学校		8	2	0																					
18	上 原	①	161	矢 上 小学校		8	0	0																					
					1P	160	10	25	0			0			0			0			0								
左 : 東長崎					2P		8	19																					
右 : 相手チーム					3P		4	15																					
					4P		12	19																					
○=勝ち ●=負け					計	●	34	78																					

5 所 感

これが中総体でなければツープレートンでいくのですが、中総体は3年生の思い出作りを軽視できませんから1年生の1個小隊は第2Qのみしか使いませんでした。特に後半は2年生の出番も少なくし、3年生が少しでも多く試合に出られるように配慮しました。それも、相手に失礼にならないような選手配合で試合を進めました。

これで3年生は中学生としての現役生活を終えるワケですが、彼女たちが入学してから2年と2ヶ月、これだけはしっかり教え込んだぞ、と思えるものはひとつもありません。それは今年の3年生だけがそうだったということではなく、鶴鳴時代も含めて過去何回も味わったことのある思いではありますが…。

このような思いをするのは、教える側に問題がある場合、習う側に問題がある場合、双方に問題がある場合の3通りがあります。重要なのは、もし自分に問題があったということが判ったならば、これからの生活で2度と同じことが起こらないように自分を見直すことです。もし見直しをしなかったら、これからの人生で第2第3の同じ過ちを犯します。部活動は誰からも強制されず、自分が自分の意志で自分の自由時間を割いて取った行動です。自ら取った行動なのに問題があれば当然自分は不幸になりますし、それだけではなく共に活動した仲間にも不愉快な思いをさせます。

落とし穴があります。それは、人間は自分の行為を美化する生き物だということです。たいした努力をしてはいないのに「やるだけやった」と思ったり、仲間を大切にしなかったのに「いい仲間に出会えた」と思ったりする生き物です。そうやって自分の行為を美化し、美化したストーリーの中で生きていこうとする生き物です。

もし、今後よりよき人生を歩もうとするならば「今日で終わった」とか「今日で引退」とせず、卒業までの残り9ヶ月間、自分の過去を美化せず全うすることです。そうするとこれまでの2年2ヶ月がこれからの人生に大いに役立ちます。

私自身のことを述べます。私は自分の行為を美化したことはありませんが、挫折し、失望し、教師を辞めよう、死んでしまおうと思ったことは何度もあります。その度になんとか這い上がって生きてきましたが、その間1度だけうぬぼれて「俺はやったぞ(昭和48年)」と思ったことがあります。

私は先日77歳になりましたが、昭和48年のうぬぼれを教訓に、あと何年続けられるかわからないコーチ人生を歩もうと思っています。 文責：山崎

関係各位

長崎市立東長崎中学校  
女子バスケットボール部  
顧問 木戸由希・石井桃子  
コーチ 山崎純男

令和元年度 第49回長崎市長杯争奪中学校バスケットボール大会結果報告（初日で修了）

- 1 場 所 小島中学校
- 2 期 間 令和元年09月07日（土）・08日（日）
- 3 試合結果 別記
- 4 詳 細

選手プロフィール					1回戦		小江原														備考					
#	名	前年	身長	出身	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	Note	
4	米 嶋	②	157	高城台 小学校		0	0	0																		
5	西 川	②	166	古 賀 小学校		13	4	0																		
6	木 下	②	160	古 賀 小学校		13	0	0																		
7	江 口	②	156	古 賀 小学校		12	0	1																		
8	藤 下	②	155	矢 上 小学校		0	0	0																		
9	布志木	②	156	日 見 小学校		0	0	0																		
10	中 田	①	153	古 賀 小学校	S	26	0	3																		
11	布志木	①	156	高城台 小学校	S	29	9	1																		
12	鎌 塚	①	150	高城台 小学校		0	0	0																		
13	上 原	①	161	矢 上 小学校	S	16	1	0																		
14	小 川	①	161	高城台 小学校	S	26	20	2																		
15	林 田	①	157	矢 上 小学校		0	0	0																		
16	山 口	①	150	古 賀 小学校		0	0	0																		
17	庄 司	①	153	古 賀 小学校		0	0	0																		
18	加 藤	①	163	高城台 小学校	S	25	4	0																		
				1P	160	16	13		0				0				0					0				
	左	:	東長崎	2P		8	22																			
	右	:	相手チーム	3P		6	24																			
				4P		8	13																			
				計	●	38	72																			

5 所 感

1日目で修了

上記、ご覧のとおり1年生5人がスタメンです。このことについて述べます。昨日は文部科学省働き方改革の部活動に関する通達を守るためオフにしなければならない日でした。1昨日は2年生の試合メンバー5人が「先生から頼まれたことをしなければならないので部活は休みます」という理由で欠席しました。

スタメンのことについては試合前に選手たちに説明をしました。「今日、なぜ1年生がスタメンなのかという、2年生の試合メンバーが全員、公式試合直前の2日間練習に参加しなかったからだ。試合直前に2日間も練習に参加せずにより仕事が出来るほど試合（戦い）というのは甘くない。それをわかってほしい」

さらに、次のような説明もしました。「このような措置は、家族のことよりも、クラスのことよりも、学校のことよりも部活動を優先しろという意味ではない」。ですから、2年生の試合メンバーを干して試合に出さないというような報復措置まがいのことはしません。8人のメンバーを仕事のできばえや疲労の様子を見ながら試合に出しました。

また、この8人の次に控えている選手たちにも「勝っている試合ならまだしも、負けている試合なのに8人より力が劣る選手を思い出作りのためにサービス出場させることは相手に失礼だからできない。出たければ力を付けるしかない。それが勝負の世界だ」と言いました。

つい先日まで小学生だったこどもたちに対しては厳しいようですが、できるだけ若い時代に、生きるということに對しての厳しさを学ばせなければ、家族の1員としても、クラスの1員としても、部活動の1員としても、本当の思いやりとか感謝とか友情などの精神は身につかないと思います。

プレイの内容について述べます。第2Q以降、プレイが行き詰まって疲労の色が濃くなってきました。そこでタイムアウトを取り、プレイの行き詰まりの打開策を指示しました。これまでの彼女たちは「ハイ」といいながらもプレイを見ていると「ああ、わかってないな」と感じるが多かったのですが、今日の試合では「今のは指示を理解してプレイしたな」というのをたくさん見つけました。前半の途中から、プレイのことではなくカリンとユイコをどこで休ませようかということに気をつかいながらベンチ采配をしました。こんなに激しく動いていたら最後まで保たないと思ったからです。プレイの質ではなく選手を休ませるための交替に気がつかったのは初めてです。

文責：山崎



関係各位

長崎市立東長崎中学校  
女子バスケットボール部  
顧問 浦ゆかり・野田希世美  
コーチ 山崎純男

平成31年度 長崎新聞社杯争奪中学生バスケットボール大会 結果報告 (初戦敗退)

- 1 場所 桜馬場中学校
- 2 期間 平成31年04月20日(土)・27日(土)・28日(日)
- 3 試合結果 別記
- 4 詳細

選手プロフィール					1回戦			2回戦			3回戦			4回戦			5回戦			備考									
#	名	前年	身長	出身	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	Note
4	小谷川	③	160	高城台小学校		13	4	1																					
5	寺島	③	164	高城台小学校		16	5	1																					
6	前道	③	157	高城台小学校		8	4	1																					
7	木下	②	160	古賀小学校		14	2	1																					
8	江口	②	156	古賀小学校		13	2	1																					
9	西川	②	166	古賀小学校	S	16	6	1																					
10	中田	①	153	古賀小学校	S	13	2	1																					
11	布志木	①	156	高城台小学校		16	6	0																					
12	鎌塚	①	150	高城台小学校		0	0	0																					
13	林田	①	157	矢上小学校		4	0	1																					
14	小川	①	161	高城台小学校		16	11	0																					
15	加藤	①	163	高城台小学校	S	15	4	0																					
16	山口	①	150	古賀小学校	S	0	0	0																					
17	庄司	①	153	古賀小学校		0	0	0																					
18	上原	①	161	矢上小学校	S	16	0	0																					
				1P	160	11	21		0				0					0							0				
	左	:	東長崎	2P		15	15																						
	右	:	相手チーム	3P		12	17																						
				4P		8	23																						
				計	●	46	76																						

- 5 所感
 

選手の使い方は2・3年生6人をひとかたまりとし、1年生9人をひとかたまりとするツープラトン方式を採りました。それも小隊を頻繁に交替させるのではなく、各小隊はまるまる1クォータープレイさせ、もし選手にアドバイスが必要なら小隊内のメンバーで交替させ、小隊をまたがった交替はさせませんでした。

それは、各小隊内の選手たちは互いの資質を知っているが他の小隊の選手たちの資質は把握しきれていない。だから、小隊をまたがった選手起用をすればお互いの間に躊躇や迷いが生じるかもしれない。それは避けたいという思いからでした。そのような起用方法が可能になったのは、各小隊が独立して戦える小隊だったからです。もし、それぞれの小隊に極端に足を引っ張る選手がいるので他の小隊から選手を補充しなければならないような事情があればこの方法は成立しませんでした。

試合で起用した選手は2・3年小隊6人、1年生小隊6人で、1年生小隊の中の鎌塚・山口・庄司の3人はコートに立たせてやることはできませんでした。公式試合というのは、戦える選手がコートに立つのであって、戦うには力不足であるという選手を、負けているチームが「せっかくユニフォームを貰ったのだから記念に出てこい」などとサービス出場させるのは相手に対して失礼千万。そんなことをしてはいけません。

しかし私は、この3人を「ベンチにすら座らせたくない」と思っているならエントリーしてはいけません。「ベンチからいろんなことを学んで成長しろよ」と思うからベンチに座らせたのです。逆に、「まじめに練習していたら上級生になればユニフォーム貰えるよ」と安易に考えている上級生が居るとしたらそれはとんでもない思い違いだということを警告しておきます。

重要なキーワードは「社会貢献」です。「私はどんなことができるようになったらチームに貢献できるのだろう」「私が持っている欠点のうち、まず第1にどれを直せばチームに貢献できるのだろう」と思いながら毎日の練習に参加しているとそれは必ず認められ、いずれ重用されるようになります。

部活動というところは、思いやり・尊敬・気付き・気配りを学び「社会に貢献できる人間になろう」という思いを育むところです。がんばってください。

最後に、負けはしましたが久しぶりに気持ちのよい采配を振るうことができました。

文責：山崎

関係各位

長崎市立東長崎中学校  
女子バスケットボール部  
顧問 木戸由希・石井桃子  
コーチ 山崎純男

令和元年度 長崎市中学校総合体育大会新人大会結果報告 (2日目)

- 1 場所 小島中学校他
- 2 期間 令和元年12月07日(土)・08日(土)・14日(土)
- 3 試合結果 別記
- 4 詳細

選手プロフィール				1回戦			小島			2回戦			三川												備考									
#	名	前年	身長	出身	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	Note	
4	米嶋	②	157	高城台小学校			1	0	0			0	0																					
5	西川	②	166	古賀小学校	S	26	8	0	S	32	4	2																						
6	木下	②	160	古賀小学校	-	--	--	-	-	--	--	-																					指骨折	
7	江口	②	156	古賀小学校			9	4	1	-	--	--																					インフルA発症	
8	辻山	①	152	高城台小学校			0	0	0			0	0																					
9	田中	②	155	高城台小学校			0	0	0	-	--	--																						空手試合
10	中田	①	153	古賀小学校			16	2	3			0	0																					
11	布志木	①	156	高城台小学校	S	28	22	1	S	32	10	1																						
12	鎌塚	①	150	高城台小学校			3	0	0			0	0																					
13	上原	①	161	矢上小学校	S	15	6	0	S	32	3	1																						
14	小川	①	161	高城台小学校	S	29	20	2	S	32	14	2																						
15	林田	①	157	矢上小学校			4	0	0			0	0																					
16	山口	①	150	古賀小学校			12	0	0			0	0																					
17	庄司	①	153	古賀小学校			1	0	0			0	0																					
18	加藤	①	163	高城台小学校	S	16	11	0	S	32	7	1																						
				1P	160	19	5		160	9	14		0				0					0												
	左	:	東長崎	2P		18	12				11	7																						
	右	:	相手チーム	3P		20	13				6	8																						
				4P		16	18				12	11																						
				計	0	73	48		●	38	40																							

5 所感

1日目

今期最高の試合だったと思います。点差をつけて勝てたからではありません。内容がです。今ボールを受けに行け。今その場所は空けて他の場所に行け。今飛び込め。今仕掛けろ。と、「今」を5年間教え続けてきましたがそれを試合で実行できることはありませんでした。それが6年目に入って半年経った今日できるようになったのです。もっとも、6年というのは私にとっての6年であって、選手たちにとっては6年間私から教え続けて貰うわけではありません。選手たちは2年間で会得しなければ私とはさよならです。今年の2年生は私から習い始めて1年半。1年生は半年です。その期間で彼女たちは「山崎純男のバスケットって、こんな感じ?」をつかんだのです。過去5年間私から習った選手たちが残って指導してくれはしませんから、過去の下地があったとはいえません。ですから、誰のおかげでもなく自分たち自身にこれだけの短期間で吸収する力があつたからこそ成し得た成果だと私は思います。

ここまでは、場面理解に関することばかりを述べましたが、個人技についてもそうです。11月中旬から取り入れた4つ目のメニューを今日の試合で使えたのです。やりはじめて1ヶ月しか経たないのにそれを試合で使えるというのは高校生であっても至難の業です。特に、リナとカトハナの2人にはリバウンドショットの特訓をしましたが、それをちゃんと試合でやれました。過去には「いくら教えてもこの子たち理解できないなあ」と思った時期もありましたが、今日は「花が咲くのは、1つ咲いてまた1つではなく、こんなふうに一齐にみんな花開くときもあるんだ」と思っています。

2日目

ハイポスト(エルボー)を起点とする攻撃方法を、フラッシュ(飛び出す)主体からシャローカット(浅く駆け込む)に切り換えるよう指示しましたが、今日初めて言われたことを「ヨシ、わかった」とやれるほどの力を選手たちはまだ身につけていません。仕方のないことです。残り時間25.8秒。2点リードされていて相手スローイン。こんな時誰もがフルコートプレスを敷くと思いますが、私は双方の力量からしてそれをやれば墓穴を掘り、かえって傷口を広げると判断し、ショットクロックを守り切って残りの数秒の攻撃にすべてをかける作戦を指示しました。このふたつの出来事はどちらも功を奏しませんでした。それらはすべて結果論。私は昨日と今日の試合を見て、彼女たちは間違いなく力を付けてきたと思っています。文責：山崎

関係各位

長崎市立東長崎中学校  
女子バスケットボール部  
顧問 木戸由希・石井桃子  
コーチ 山崎 純 男

令和元年度 第25回時津長与協会中学生バスケットボール強化練習会結果報告（最終日）

- 1 場 所 鳴北中学校
- 2 期 間 令和元年10月05日（土）・12日（土）
- 3 試合結果 別記
- 4 詳 細

選手プロフィール				リーグ1 時津			リーグ2 西大村			T1 祇園			T2 淵									備考							
#	名	前年	身長	出身	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	Note
4	米 嶋	②	157	高城台 小学校		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0									
5	西 川	②	166	古 賀 小学校	S	27	4	0	S	21	2	1	S	24	10	1	S	14	0	0									
6	木 下	②	160	古 賀 小学校	S	7	0	0	S	16	2	0		13	4	0		8	0	3									
7	江 口	②	156	古 賀 小学校	S	21	4	1	S	18	4	1	S	20	6	0	S	26	6	1									
8	辻 山	①	152	高城台 小学校		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0									
9	田 中	②	155	高城台 小学校		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0									
10	中 田	①	153	古 賀 小学校	S	11	0	3	S	18	7	2		7	0	2		15	5	0									
11	布志木	①	156	高城台 小学校		24	7	1		12	7	2	S	25	10	4	S	28	13	1									
12	鎌 塚	①	150	高城台 小学校		0	0	0		4	0	0		0	0	0		0	0	0									
13	上 原	①	161	矢 上 小学校		3	0	0		3	6	1		6	0	1		19	5	1									
14	小 川	①	161	高城台 小学校	S	26	11	2	S	27	20	2	S	25	9	2	S	27	16	1									
15	林 田	①	157	矢 上 小学校		0	0	0		4	2	0		0	0	0		0	0	0									
16	山 口	①	150	古 賀 小学校		17	2	0		9	0	0		3	0	2		0	0	0									
17	庄 司	①	153	古 賀 小学校		0	0	0		3	0	0		0	0	0		0	0	0									
18	加 藤	①	163	高城台 小学校		4	0	0		5	2	1	S	17	4	2	S	3	0	0									
				1P		140	6	17		140	11	6		140	19	8		140	9	9		0			0				
	左	:	東長崎	2P			7	12			17	3			6	7			16	13									
	右	:	相手チーム	3P			10	10			11	6			4	7			9	15									
				4P			5	9			13	5			14	12			11	14									
				計	●	28	48		○	52	20		○	43	34		●	45	51										

5 所 感

1日目

この強化会参加チームの中でもっとも力があるチームは時津中だろうと思っていました。1年前はそんなチームと対戦すれば試合をさせてもらえませんでした。それが最近では試合をしていると言えるまでに成長しました。今日の時津戦でもそれは言えます。6月の市中総体後の初対外試合（佐世保リーグ：8月03・10）ではバスケットの体を成していませんでした。が、8月下旬のコヤスポカップでは、負けた試合（対山里・対長与）もバスケットは成立していました。

そして今回、さらにそれはレベルアップしていました。理由は2つあると思います。①8/27から加えた4つ目の練習メニューの効果。②コヤスポカップの時は、フルタイム出場させても大丈夫な選手が1人しかいなかったのが3人に増えたことです。それに加えて、カリナの成長が大きいです。カリナはミニバスを始めたのが遅く、なかなか試合で使えるようにはならなかったのですが、足が速いことと瞬間の対応力でしばしばチームに貢献してくれるようになりました。

あと、欲しいのは2年生の自覚です。ツープラトーンでやるには、2年生にも危ない選手がいますし、1年生にはまだまだ幼稚な選手がいるので、最強チームを作るには2年生と1年生の混成でやるのがよいのですが、それを「これで大丈夫」にするには、幼稚な1年生を引き上げるよりも2年生に自覚が芽生えることの方が重要です。「今年の1年生はなかなかやる」とは言っても所詮は下級生。組織というものは、上に立つ者に「やはり1日の長があるよね」がなければ機能しません。

2日目（12日）

1試合目の祇園戦はみんな持ち味を發揮してくれました。2試合目の淵戦は惜しい試合を逃しました。逃した最大の理由は、重要な場面で若さが露呈したからです。ここでいう若さとは、バスケット技術の未熟さではなく人間的な未熟さです。13～4年しか生きていない子どもたちの未熟さを指摘するのは酷だという人がいるかもしれませんが、普通の13～4歳の子に対して言うのなら酷です。しかし彼女たちは普通の子ではなく戦士なのです。戦士は戦場で予期せぬ出来事が起こってもうろたえてはいけません。でも私には悔しさとか腹立たしさはありません。理由は、若さを露呈しましたがほんものの戦士になるのはもうすぐだという感触を得られたからです。他校のKコーチに「見る度に風軍団に近付いてますねえ」と言われました。それを励みに頑張ります。文責：山崎